

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	王子マテリア株式会社					
代表者名	氏名	新藤 恵悟	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都中央区銀座五丁目12番8号					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	14 パルプ・紙・紙加工品製造業				
主たる事業の概要	段ボール原紙製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	21,279	20,855	21,464	22,530	21,663
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	40,932	40,117	41,396	43,405	41,400
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	605		360	545	780
自動車の台数	台	3		3	2	2
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	3				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～ 2022 年度
------	------------------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

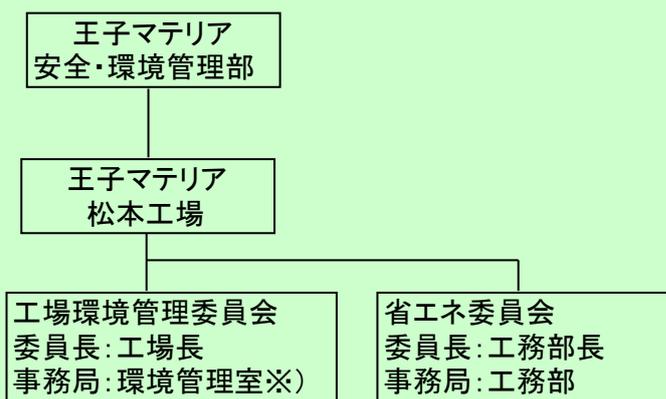
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	環境管理室にて閲覧用印刷物準備 閲覧時間 : 9:00～17:00 連絡先 : 0263-25-5409
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ・省エネルギーを重要課題として二酸化炭素排出量削減に努める。
- ・ISO14001に基づく環境目標を定め進捗管理を行う。
- ・生産工程の歩留向上により廃棄物の削減を推進する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



※)
温暖化対策責任者:環境管理室長
温暖化対策担当者:環境管理室主幹
計画書提出担当者:環境管理室主幹

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

会議名称 : 省エネルギー活動プロジェクト会議
開催頻度 : 1回/月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	40,932	t-CO ₂	生産量	131.40	単位	千t
2019年度	調整後排出量	40,932	t-CO ₂	基準原単位	311.51	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量	40,117	t-CO ₂	目標原単位	305.28	t-CO ₂ /	千t
2022年度	目標削減率	1.99	%	目標削減率	2.00	%	
目標設定に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> 2020年度は、CO₂排出量1%削減に相当する省エネ投資を計画している。しかし、製品品質向上を目的とし、製造ラインの運転方法を改善するため、エネルギー使用量は、前年並みと予測する。よって2020年度のCO₂排出量削減は、ゼロとした。 2021年度以降は、継続して省エネ投資を行い、毎年CO₂排出量を1%削減する。 						
第一年度	排出量	41,396	t-CO ₂	生産量	131.72	単位	千t
	削減率	-1.14	%	原単位	314.27	t-CO ₂ /	千t
2020年度	調整後排出量	41,396	t-CO ₂	原単位削減率	-0.89	%	
	削減率	-1.14	%				
排出量等の増減理由	製品の品質向上を目的とし、製造ライン機械（叩解機）の運転方法を変更したため、CO ₂ 排出量が増加した。2021年度以降は、省エネ工事を行い目標削減率を達成する見込みである。						
第二年度	排出量	43,405	t-CO ₂	生産量	135.45	単位	千t
	削減率	-6.05	%	原単位	320.45	t-CO ₂ /	千t
2021年度	調整後排出量	43,405	t-CO ₂	原単位削減率	-2.87	%	
	削減率	-6.05	%				
排出量等の増減理由	昨年度同様、品質向上を目的とし製造ライン機械（叩解機）の運転方法を変更したため、CO ₂ 排出量が増加した。また製品歩留の低下も起因しているため、2022年度は、製品歩留まりを向上させ目標削減率を達成する見込みである。						
第三年度	排出量	41,400	t-CO ₂	生産量	127.73	単位	千t
	削減率	-1.15	t-CO ₂	原単位	324.12	t-CO ₂ /	千t
2022年度	調整後排出量	41,400	t-CO ₂	原単位削減率	-4.05	%	
	削減率	-1.15	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	目標削減率2.0%に対して、実績は1.15%増となり、計画に対して3.15%の増加となった。品質向上を目的とした製造機械運転方法変更の影響により、エネルギー使用量が増加した。設備投資を行い省エネ機器を導入したが、増加量を補えなかった。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	605	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	360	t-CO ₂			単位	
	削減率	40.49	%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	545	t-CO ₂			単位	
	削減率	9.91	%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	780	t-CO ₂			単位	
	削減率	-28.93	%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752	照明LED化	2020～ 2022	18	2022	8
2	エネ起	350699	高効率トランス導入	2020～ 2022	29	2021	3
3	エネ起	その他	攪拌機回転数ダウン	2020～ 2022	112	2020	15
4	エネ起	その他	高効率モータ導入	2020～ 2022	14	2020	16
5	エネ起	360799	高効率ポンプ導入	2020～ 2022	1	2020	10
6	エネ起	320201	乾燥機運転条件変更	2020～ 2022	473	2020	331
7	エネ起	360701	ポンプ停止	2020～ 2022	40	2020	57
8	エネ起	329999	ドレントラップ更新	2020～ 2022	33	2020～ 2022	44
9	エネ起	320301	保温・蒸気停止	2020～ 2022	40	2020～ 2022	32
10	エネ起	その他	製造・運転方法改善	2020～ 2022	149	2020～ 2022	373

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	40,932	1	41,396	1	43,405	1	41,400
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	40,932	1	41,396	1	43,405	1	41,400

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	28	92	258	456
CH ₄	384	162	135	116
N ₂ O	193	106	152	208
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	605	360	545	780

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	3	3	2	2
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張時には車両・タクシーより公共交通機関を優先して使用している。
自転車の利用促進	燃料費支給は遠距離通勤者のみとして、ノーマイカー通勤を促している。
来客者の交通対策	工場前バス停へのベンチ設置により、バスの利用を促している。
物流の合理化	製品輸送後、工場へ戻る際には古紙を積み込み、エネルギー使用量を減らしている。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2000
	名称	ISO14001	
<input checked="" type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		2020
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> 工場見学の受入れを行い、古紙リサイクルに関する理解を深めてもらっている。 機密書類の受入れによる再資源化を行い、焼却処理される廃棄物量を削減している。 焼却炉にて熱回収による有効利用を行っている。
--